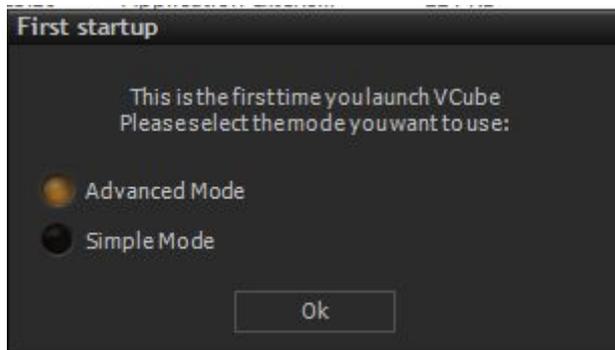


VCube最初の起動と設定

初回の起動

VCubeをアップデートなどでインストールする必要がある場合、現在使用している「プリセット」を全てプリセット>エクスポート でバックアップを作成してください。

VCubeを起動すると、初回のみ下図のようなダイアログが表示されます。”Advanced Mode”を選択し、起動させてください。



起動が終了すると、英語モードのVCubeが起動します。日本語にするには、Settings > User Interface > Language で Japanese を選択し、VCubeを一度終了させて再度起動してください。

その後、エクスポートで作成したプリセットを プリセット>インポート で新たなプリセットを作成してください。

Pyramix v8 以降の VCube

Pyramix v8以降では、Pyramix と VCube の同期を行う Virtual Transport がバージョンアップされ、Pyramixソフトウェア内に Virtual Transport 2 として組み込まれました。

そのため、1つのPCにPyramixとVCubeをインストールした (PyraCube) 場合、Pyramixの Settings > All Settings で設定を行う必要があります。

またVirtual Transport 2 では、PCをネットワークに接続しておく必要があります。PCをネットワークに接続できない場合は、このマニュアル最後の章に従って、LoopBack の設定を行ってください。

Virtual Transport 2 の設定

Pyramix と VCube を起動させたら、Pyramixの Settings > All Settings > Remote Control > Virtual Transport 2 を開いてください。

PC名にVCubeが表示されているはずですが、マウスのクリックで選択し、欄下の Connect をクリックしてStatusの欄が Connected となることを確認してください。切り離したい場合は、同様に Disconnect をクリックしてください。

オプションの2つは、両方共チェックを入れておくと便利に使用できます。

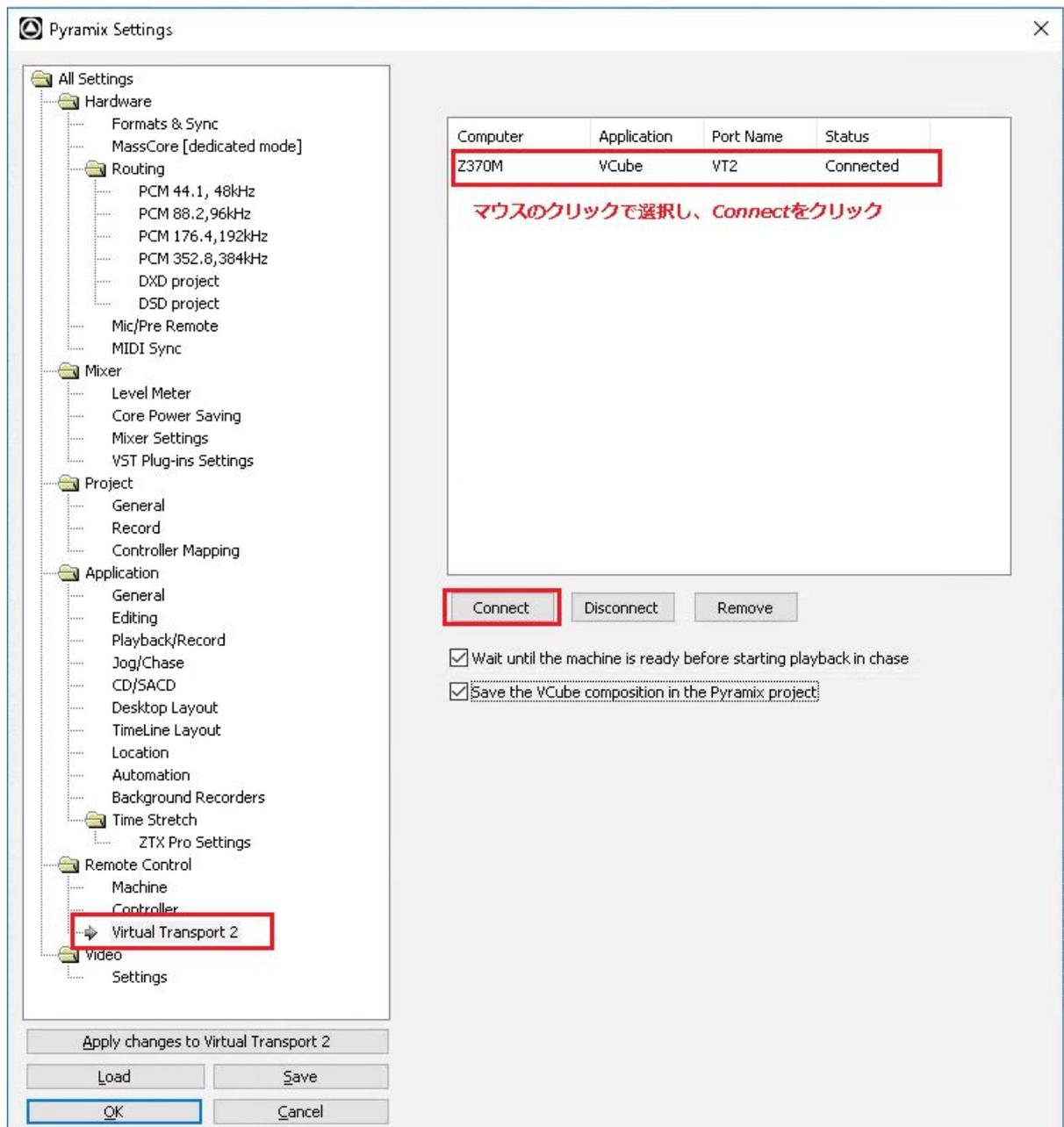
Wait until the machine is ready before starting playback in chase

(チェイスで再生する場合、マシンの準備が整うまで待つ)



Save the VCube composition in the Pyramix project

(VCubeのコンポジションをPyramixのプロジェクトに保存)



この設定は、初回の起動時に行うとその後は設定を保持してアプリケーションが起動します。

これらの設定により、PyramixのTransport PanelにはVCubeが表示されます。このTransport PanelでVCubeの操作を行うことができます。



その他の設定

Settings > All Settings > Application > General の Project Opening の欄には、Pyramixの Project を開いた時に ビデオ クリップをVCubeで開く設定があります。



Pyramix Settings

- All Settings
 - Hardware
 - Formats & Sync
 - MassCore [dedicated mode]
 - Routing
 - PCM 44.1, 48kHz
 - PCM 88.2, 96kHz
 - PCM 176.4, 192kHz
 - PCM 352.8, 384kHz
 - DXD project
 - DSD project
 - Mic/Pre Remote
 - MIDI Sync
 - Mixer
 - Level Meter
 - Core Power Saving
 - Mixer Settings
 - VST Plug-ins Settings
 - Project
 - General
 - Record
 - Controller Mapping
 - Application
 - General
 - Editing
 - Playback/Record
 - Jog/Chase
 - CD/SACD
 - Desktop Layout
 - TimeLine Layout
 - Location
 - Automation
 - Background Recorders
 - Time Stretch
 - ZTX Pro Settings
 - Remote Control
 - Machine
 - Controller
 - Virtual Transport 2
 - Video
 - Settings

Application Loading

At Application Loading:

- Mount the Folders listed in:
All Settings > Application > Location Page > Permanently Mounted Media Folders
- Mount all Media Folders that were mounted at previous Application Exit

Project Opening

- Automatically open previous projects

On Project Opening:

- Rescan and Mount all Media Folders for that project (see Project > General page)
- Mount all Media Folders for that project (see Project > General page)
- Mount only Media Folders containing Media used by that project
- Do not try Mounting any Media or Folders
- Search for missing Media
- Ask for DSD/DXD conversion
- Open Video Clips in VCube

Undo

Number of Undo / Redo: 32

Auto-Saving

- Enable
- Frequency: 10 min

Auto-Backup Versions

Number of versions to preserve: 5

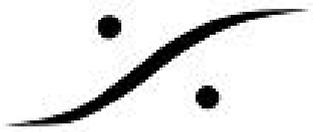
Alternate Backup

- Enable
- Location: C:\PMX_ALT_BACKUP

Apply changes to General

Load Save

OK Cancel



AAFインポートの設定

AAFのインポートで使用する Project > Import にも VCube関連のオプションがあります。

開いたテンプレートにAAFを展開したい場合は、

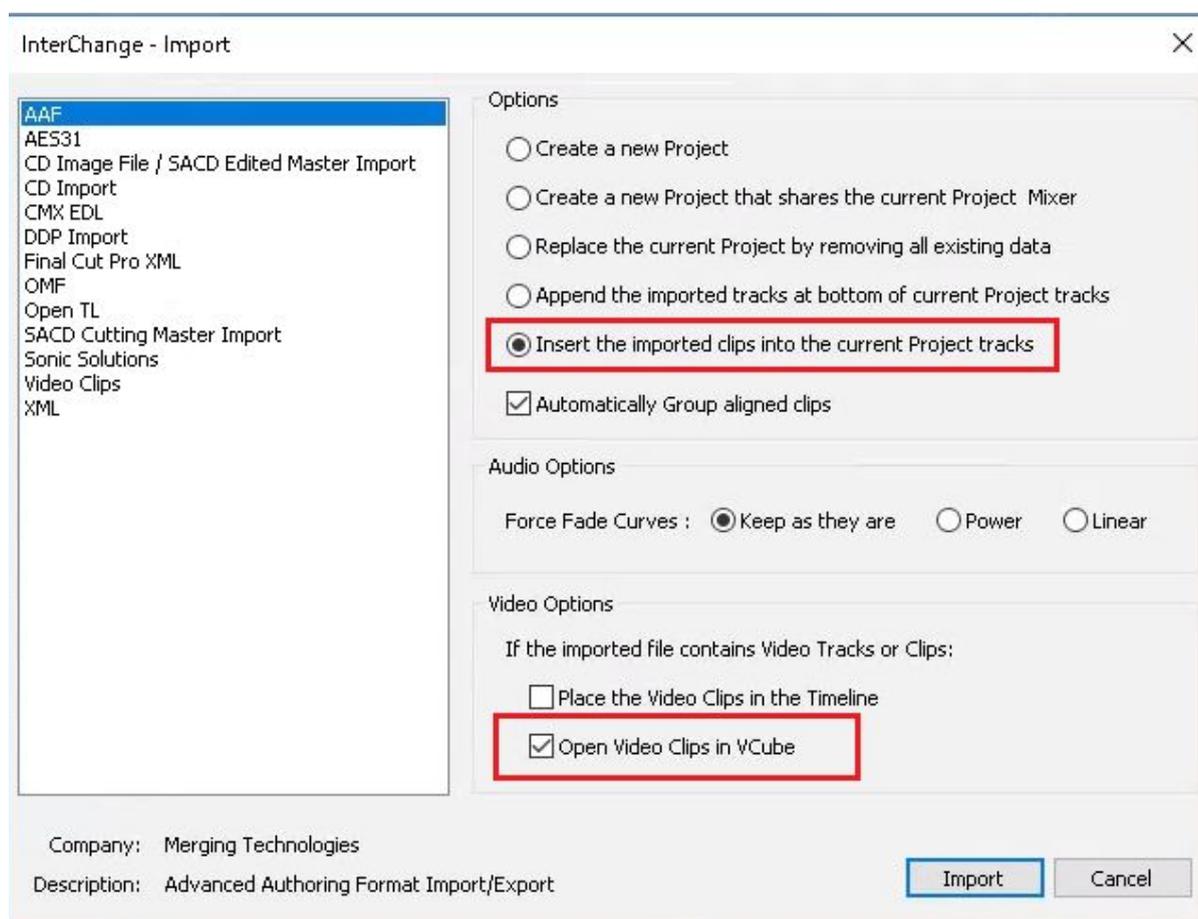
次の図の【Insert the imported clips into the current Project tracks（現在開いているプロジェクトのトラックにクリップをインポートする）】を選んで下さい。

AAFのビデオをVCubeで開くには、

Video Options の【Open Video Clips in VCube（ビデオクリップをVCubeで開く）】にチェックを入れて下さい。

そのオプションの上の【Place the Video Clips in the Timeline（タイムラインにビデオクリップを置く）】にチェックを入れると、Pyramixにビデオトラックを作成し、その上にビデオクリップが置かれます。

この設定も、次回同様のページを開いた時に設定を引き継ぎます。





Virtual Transport 2 の トランスポート パネル

Virtual Transport 2 を使用すると、トランスポート パネルで各マシンのトランスポート コントロールができるようになります。

特に、各マシンの MASTER 部をクリックして設定する部分と Chase ボタンは、各マシンの主従関係を設定しますので、注意して設定する必要があります。

通常のポストプロダクション作業では、Pyramix をマスターに設定し、VCube を Pyramix にチェイスさせますので、下図のように VCube の MASTER を Internal (=Pyramix) に設定し、Chase ボタンを押したままにします。



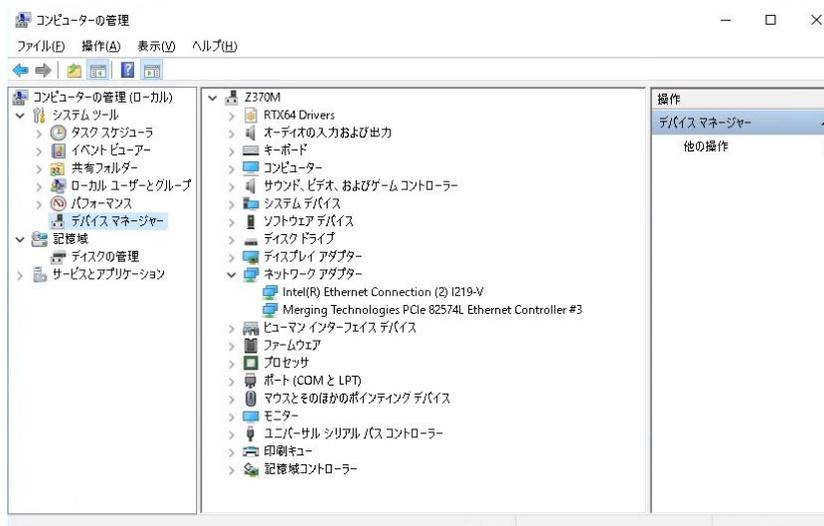
逆に VCube をマスターにし、Pyramix を VCube にチェイスさせたい場合、VCube のチェイスは外し、Pyramix のチェイス ボタンを押したままにします。Pyramix の MASTER は VCube に設定します。



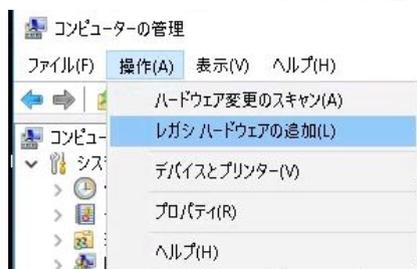
PCがネットワークに接続できない状態で Virtual Transport 2 を動作させるには

Virtual Transport 2 はネットワーク ベースのリモートコントロールです。そのため、PCがネットワークに接続されていない場合、そのままでは動作させることができません。下記の手順で

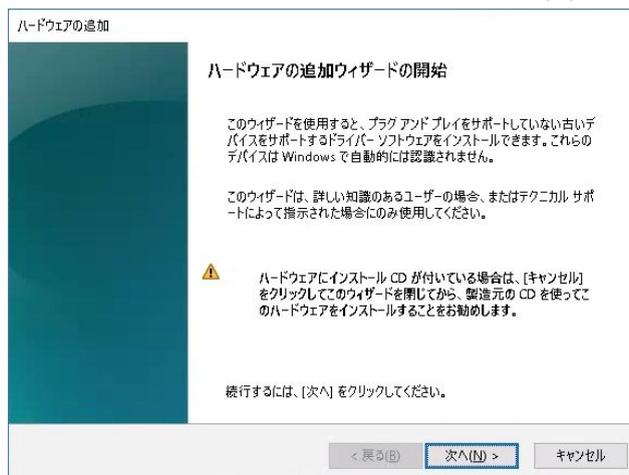
1. 【コントロール パネル > システム > デバイス マネージャー】 または、【コンピューターの管理 > デバイス マネージャー】 を開きます。



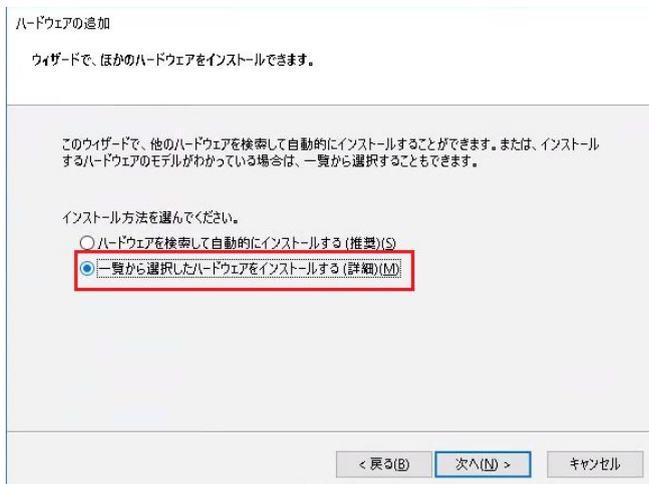
2. メニューの【操作(A) > レガシ ハードウェアの追加】 を選びます。



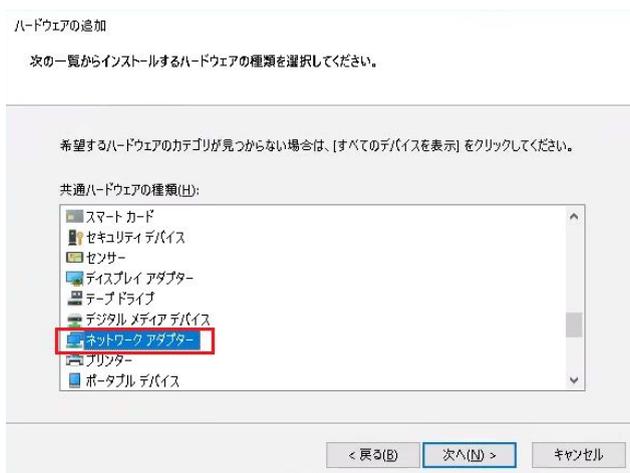
3. 【ハードウェアの追加】 ウィザードが開始されます。【次へ(N)】 をクリックします。



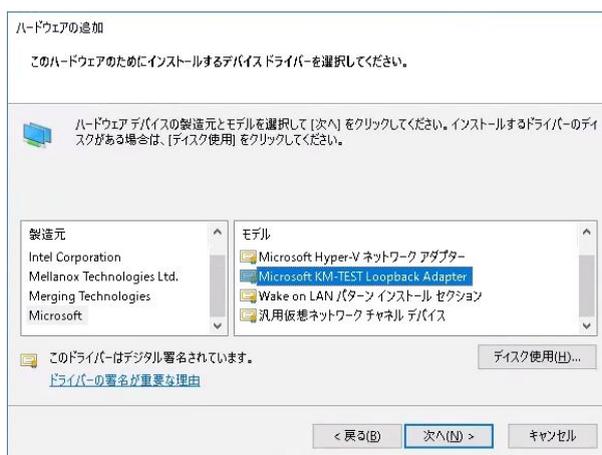
4. 【一覧から選択したハードウェアをインストールする】にチェックを入れ、【次へ(N)】をクリックします。



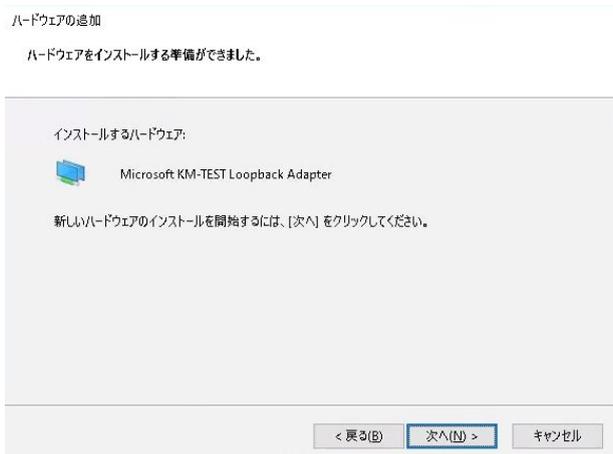
5. 一覧の中から【ネットワーク アダプター】をマウスのクリックで選び、【次へ(N)】をクリックします。



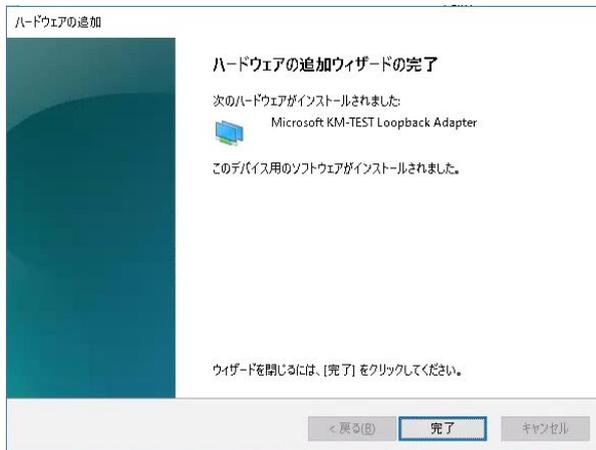
6. 左の製造元欄で【Microsoft】を選び、右のモデル欄で【Microsoft KM-TEST Loopback Adapter】を選択します。【次へ(N)】をクリックします。



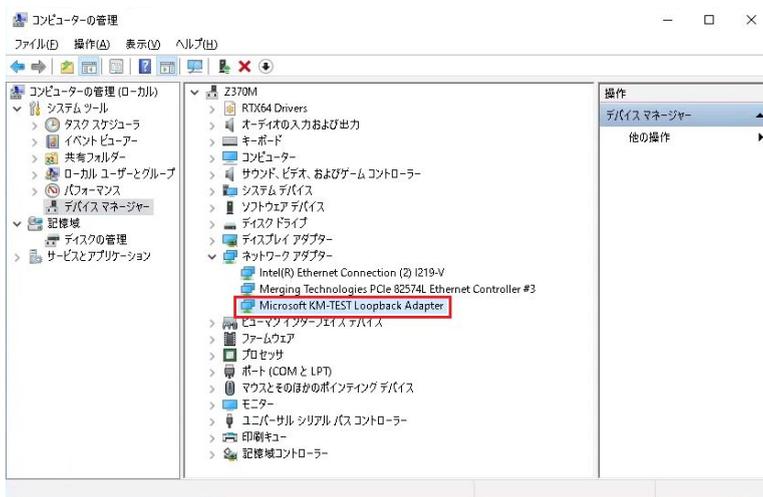
7. 確認のダイアログが表示されますので、【次へ(N)】をクリックします。



8. 【完了】をクリックし、ダイアログを閉じます。



9. これでLoopback Adapterが作成されました。デバイスマネージャーで確認してください。



10. この Loopback Adapter をVirtual Transport 2の通信に使用します。